

リンドウ(エゾリンドウ)
Gentiana triflora var. japonica
 (リンドウ科)

切り花用の品種はエゾリンドウをベースとして育種されており、紫の品種が多いが、白、ピンク、覆輪などがある。花の大きな3倍体品種も近年作出されている。宿根草であるが種子繁殖し、多くは高冷地の露地で据置き栽培される。国外ではほとんど生産がない。水あげはよく、お盆や秋の彼岸の仏花として多く用いられる。高温下でも品質の低下が少ない。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎れ・退色	A: 萎れ・退色なし B: 数花で萎れ・退色する 全小花の C: 1/4で萎れ・退色する D: 1/3で萎れ・退色する	くすんだ色(紫系の品種では赤紫)となり萎れる。萎れた小花は取り除く。
小花の褐変	A: 褐変なし B: 数花で褐変する 全小花の C: 1/4で褐変する D: 1/3で褐変する	褐斑が入り広がる。発生した小花は取り除く。
葉の変色・褐変	A: 変色・褐変なし B: 変色斑がわずかにみられる C: 変色斑が広がる D: 褐色斑となる	
葉の萎れ	視覚的に A: 張りがある C: やや萎れる(しわが寄る) D: 萎れる	あまり発生しない。
茎葉の黄変	A: 黄変なし(緑色0, B: 基部葉が黄変する C: 全体に黄変が広がる D: 完全に黄変する	
その他	病害虫の発生, 茎基部の腐り, 茎葉の黄変, 茎の曲がりなど	

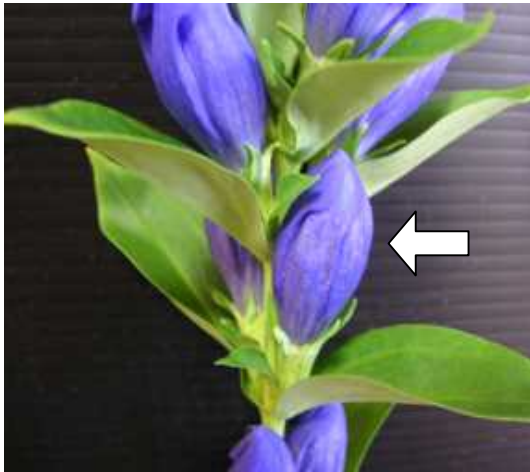
2) 留意点

下葉を取り除いてからいけ水に挿す。
 評価開始時に完全に着色した小花数を数え、小花の母数とする。先端部に小花が多数あり測定が難しいようであれば、その部分を除外してもよい。
 花被は明暗周期に応じて開閉するが、やがて明期でも開かなくなる。評価開始時点ですでに開花がみられない場合があるが、観賞価値にはあまり影響しない。
 品種によって品質低下の要因が異なるので注意する。

3) 開花



4) チェック事項

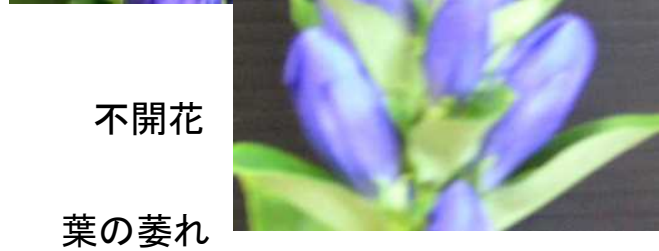
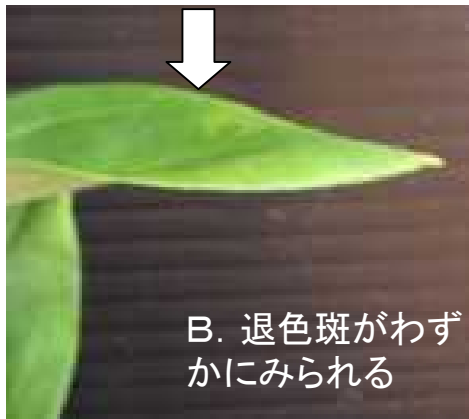


小花の萎れ・退色



小花の褐変

葉の退色



葉の萎れ

